

## 災害時の建物の機能維持を支援するためのビル管理システム –BCP 対応型 BEMS の検討

本シンポジウムでは、ビル管理システム委員会傘下の BCP 対応型 BEMS 検討小委員会にて検討を行ってきた内容について報告を行う。重要な拠点として位置付けられる建物においては、災害時にも建物の機能を適切に維持する必要がある。BCP (Business Continuity Plan : 事業継続計画) を策定することで、災害時等の危機事象に対して備えることが求められている。このような背景のもと、BCP 対応型 BEMS 検討小委員会では、BCP の観点からビル管理システムがどうあるべきか、災害時の対応力と建物管理機能を強化するためにはどのようなデータを取得し、いつどのような形で活用することが有効であるのかについて議論を行ってきた。シンポジウムでは、災害時の事業継続の取り組みへのビル管理システムの寄与方策、施設を取り巻く各種リスクと「BCP 対応型 BEMS」の対応可能性、既存の BEMS 機能での BCP 対応、「BCP 対応型 BEMS」の制御機能整理案と発災後の電力マネジメント方策等について報告を行い、今後本領域で求められる研究や技術開発の方向性、こうしたシステムの実装に向けた課題・方策等についての議論ができればと考えている。災害対応力を強化するための「BCP 対応型 BEMS」は新しい概念であり、その標準的な方法論を共有することは、学術分野に貢献するだけでなく実務上も大変有意義であると考えている。是非多くの方のご参加を期待したい。

主 催 空気調和・衛生工学会

日 時 平成 30 年 8 月 2 日(木) 14 時 00 分～17 時 00 分

会 場 空気調和・衛生工学会 会議室 (東京都新宿区神楽坂 4-8 神楽坂プラザビル 4F)

定 員 60 名(先着順)

参加費 会員・2,000 円、一般・3,000 円、学生・1,000 円 (税込・当日支払いのみ)

申込み方法 学会ホームページよりお申込みください。申し込みの URL は以下となります。

<http://www.shasej.org/base.html?bosyu/1806/symposium20180802.html>

なお、受講券の発行はございませんので、当日会場までお越しください。

定員に達した場合のみ、折り返しご連絡いたします。

CPD ポイント 聴講時間 1 時間につき 1 ポイント (ただし、休憩時間は除く)

### プログラム

- |             |   |
|-------------|---|
| 14:00～14:10 | 委員長挨拶 柁川依士夫 (ビル管理システム委員会 委員長/鹿島建設)            |
| 14:10～14:15 | 趣旨説明 増田幸宏 (BCP 対応型 BEMS 検討小委員会 主査/芝浦工業大学)     |
| 14:15～14:50 | 災害時の事業継続の取り組みとビル管理システム 増田幸宏 (前掲)              |
| 14:50～15:05 | 施設を取り巻く各種リスクと BEMS の対応可能性 篠原廣宣 (NTT ファシリティーズ) |
| 15:05～15:20 | 既存の BEMS 機能での BCP 対応 古谷守 (アズビル)               |
| 15:20～15:35 | BCP 対応型 BEMS 制御機能整理案 金田純一 (高砂熱学工業)            |
| 15:35～15:50 | 休憩 15 分                                       |
| 15:50～16:05 | 発災後の電力マネジメント 佐藤博樹 (三菱地所設計)                    |
| 16:05～16:20 | モデルビルへの適応 花島真也 (清水建設)                         |
| 16:20～16:50 | ディスカッション・質疑応答                                 |
| 16:50～17:00 | まとめ 村上公哉 (芝浦工業大学)                             |